

業容拡大へ本格投資

プラスチック 受託加工 茨城に工場棟新設

不二製作所（東京都江戸川区、間瀬恵二社長、03・3686・2291）は、業容拡大に向け本格投資に着手した。サンドプラスチックの受託加工を行って、茨城工場（茨城県稲敷市）に、延べ床面積が現工場棟の約1・3倍の新工場棟を建設、12月から順次稼働させる。さらに、現本社・工場を3、4年かけて全面的に建て直し、延べ床面積を1万7000平方メートルに倍増する。技術開発の強化や営業要員の増強も進め、10年後に現在の2倍の売上高100億円を目指す。

不二製作所はプラスチック装置メーカー。受託加工も手がける茨城工場に3億円近くを投じ、延べ床面積約2200平方メートルの工場棟を建設する。現在の工場棟も昨年夏に2割め、微粒子衝突表面改質技術「WPC処理」など先端分野の装置も導入、要が急増し、手狭になっ

また、本社・工場の建て直しの総投資額は20億

円近くを見込む。生産能力を落とさないよう工期を6回程度に分け、3、4年かけて順次、建設する。来年夏には一部着工する。

プラスチック装置の生産能力強化などが狙いだが、同社の装置は顧客の要望に合わせた一品ものが多いことから、地方

への移転ではなく、現在地での建て直しを決めた。本社事務所スペースも拡大する。最終的には1800平方メートル規模のワンフロアを確保し、営業や技術開発、設計など各セクションが交流しやすい場をつくる。

同社はここ数年、営業、技術開発を中心に人員を増強している。10年

後には従業員を400人に倍増させる方針だ。